

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信 2023年4月26日
第7号

女子バレーボール部 春季大会で地区優勝

4月22日、23日、小樽・後志高等学校春季バレーボール大会が小樽潮陵高校で開催された。5校のリーグ戦の結果、本校が4勝0敗で優勝した。主将の丸山桐果さん(3-4)は「1年生が入り、新チームとなつての公式戦で課題も見えた」と語った。

練習の成果を出せた 初戦は小樽未来創造戦。「練習してきたことは出せた。サーブやスパイクが決まり、自分たちの流れで試合を進めることができた。」

第二戦は岩内・小樽潮陵戦。「相手はサーブを拾うチームだったが、練習の成果をミスが怖がらずに出せた。チャンスでは速攻など、決めるところで決められた。」



女子バレーボール部、表彰式の様子。

<春季大会結果> 4勝0敗

- 小樽双葉 2-0 岩内・潮陵
25-14
25-13
- 小樽双葉 2-0 倶知安
25-18
25-14
- 小樽双葉 2-0 小樽未来創造
25-10
25-12
- 小樽双葉 2-0 小樽桜陽
25-21
25-18



みんなで双葉ポーズ。
丸山桐果さん(前列右から3人目)、田中美華さん(前列左から2人目)を中心に多くの選手が出場した。

第三戦は倶知安戦。「相手のレシーブは上がるが、打つ人が固定されていたので、マークしてブロックしやすかった。こちらでレシーブしてから、速攻や二段トスで打ち切ることができた。」

第四戦は小樽桜陽戦。「対戦相手の中では一番拾う手強い相手だった。桜陽のベンチの声や声援が大きくて、飲まれそうになったが、これまで練習してきたことを試合で発揮し、速攻やダイレクトを決め、ゆっくり自分たちの流れで試合を運ぶことができた。」

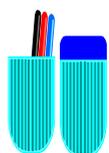
みんなの気持ちが一つになり、 優勝できるように

今回の試合を丸山さんに百点満点で評価してもらったところ「60点」と答えてくれた。

「まだ全員が『勝つ』意識が足りないからです。一年生にとっては初めての公式戦で緊張したと思います。でも良い経験になったと思います。一年生を迎え、新しいチームになって、まだチームワークはこれからで、みんなが一つの気持ちでできている部分が少なかったので、改善したいと思います。チーム一丸となって優勝で勝てるように頑張ります」と答えてくれた。

目標は全道ベスト4入りすること。道内各地のライバル校に全員で挑戦したいと語っている。

求む 生徒会通信員



校内のニュースを一緒に発信しませんか。インタビューは楽しいですよ。新聞の支部・全道・全国の大会もあり、他校と交流できます。

関心のある人は職員室の上村までどうぞ。